

森本 創 (明治大学大学院文学研究科 博士後期課程)

「11～13世紀 中国西部少数民族における茶の嗜好品化」

はじめに

- 1) 飲茶文化の伝播と定着
- 2) 茶馬貿易と「茶馬司体制」
- 3) 先行研究
- 4) 研究の概要

1、黎州近郊諸部族の反乱

- 1) 『建炎以来朝野雜記』記載の事件概要

・黎州諸蛮の概要

- チベット族・羌族・彝族系の12種の部族
- 西の五部落、西南の青羌・吐蕃、南の邛部川

・反乱の経緯

- 1173年に茶馬貿易の不満から反乱が発生
- 1210年まで38年にわたって断続的な戦争状態

・高級茶の贈与

- 邛部川が南宋側を救援。高級茶と絹織物を贈呈

- 2) その他史料の検討

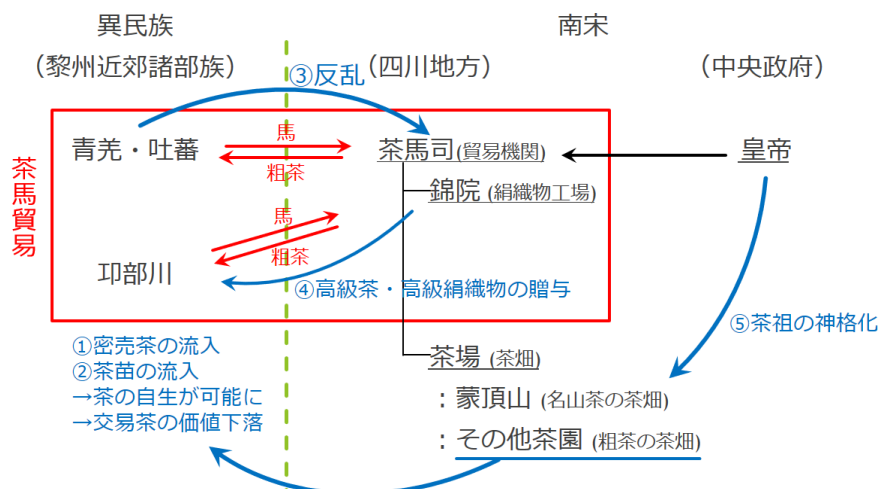
・反乱の発生原因（[水野1990]の指摘）

- 1127年の茶法改革により密売茶・茶苗が諸部族に流通
- 茶馬貿易のレートに不満。反乱の発生

・南宋側の対応

- 茶馬貿易に絹織物を使用／1168年に絹織物工場を設置
- 高級茶のプロテクト／名山の茶祖・呉理真を封じる

- 3) 検討結果（概念図）



12～13世紀の東アジアと飲茶文化の伝播地



本報告で扱う地域 (黎州近郊拡大図)

2、民族交流の諸相

1) 黎州と他地域との接続

- ・黎州近郊諸部族を介した交流

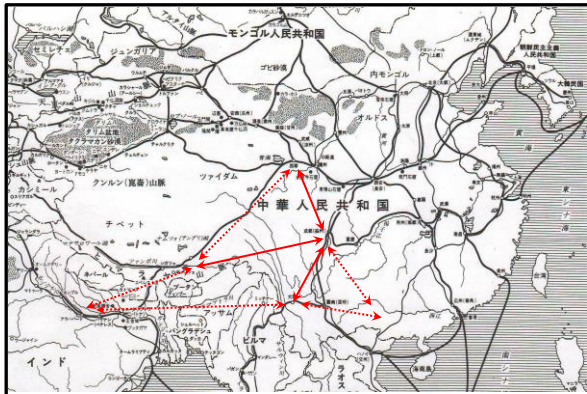
→珊瑚や象牙など南アジア由来の交易品、雲南の茶文化が知識として伝来

- ・黎州を中心にみる対外交流

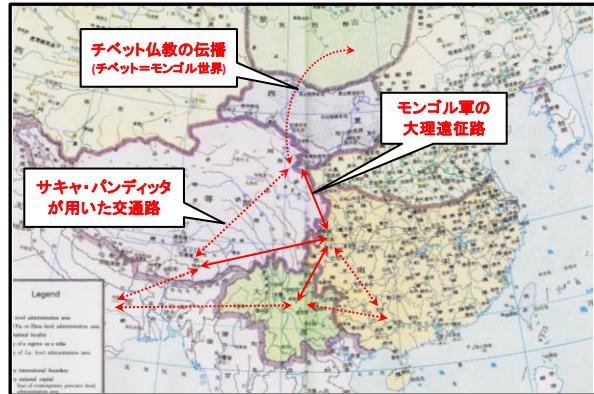
→①南方路（雲南・インド方面）、②西方路（チベット方面）、③北方路（青海方面）

2) 11～13世紀の交通概念図

a) 11～13世紀の内陸交通路（復原案）



b) 11～13世紀の境域図と内陸交通路（復原案）



※1 実線矢印…本研究で復元できるとされる内陸交通路。

※2 点線矢印…本研究では言及できなかったが、その存在が示唆される交通路。

※3 地図(図a)…従来のシルクロード図を底本に作成。これまで想定されなかった交通路の存在を指摘できる。

※4 地図(図b)…11～13世紀の各王朝勢力図を底本に作成。王朝の勢力圏を越えた交通網が確認できる。

※5 吹き出し…交通路の復原によって説明が容易となる歴史事象。

まとめ

- ・嗜好品文化研究の視点／12世紀に諸部族が茶苗を自生することで、茶が日常に定着
- ・歴史学研究の視点／茶を切り口とすることで、境域を越えた民族交流の事実が判明

参考文献（初出年代順）

[梅原1973] 梅原郁「青唐の馬と四川の茶—北宋時代四川茶法の展開—」（『東方学報』45、1973年）

[水野1990] 水野正明「南宋四川の茶法について」（『東アジアの法と社会—布目潮瀨博士古稀記念論集—』汲古書院、1990年）

[布目1993] 布目潮瀨『布目潮瀨中国史論集』下巻（汲古書院、1993年）

[松下1998] 松下智『茶の民族誌—製茶文化の源流—』（雄山閣、1998年）

[王2004] 王曉燕『官営茶馬貿易研究』（民族出版社、2004年）

[松下2012] 松下智『茶の原産地を探る』（大河書房、2012年）

[雅安2012] 雅安市人民政府四川省文物管理局編『辺茶蔵茶—茶馬古道文化遺産保護（雅安）研究会論文集—』（文物出版社、2012年）

[黄・陳2015] 黄能馥・陳娟娟著、小笠原小枝監修『中国絹織物全史—七千年の美と技—』（科学出版社東京／国書刊行会発売、2015年）